

◆編集・発行

茨城町 町長公室 秘書広聴課
〒311-3192
茨城県東茨城郡茨城町小堤1080
☎ 029-292-1111
メールアドレス
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

◆人口

住民基本台帳
令和5年11月末現在
男 15,471人
女 15,334人
総人口 30,805人
世帯数 13,492世帯

◆茨城町民憲章

- 1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
- 1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
- 1 隣人や家庭の愛を大切に、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
- 1 自分の仕事に責任と誇りを持ち、活気に満ちた町をつくりましょう。
- 1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

- ◆町の花 桜
- ◆町の木 梅
- ◆町の鳥 うぐいす

◆町の防災行政無線が聞き取れなかった場合
防災行政無線テレホンサービス
☎0800-800-8848
(通話料無料)

町ホームページにも放送内容を掲載しています。

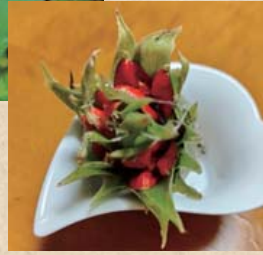
◆町の情報発信中!!

- 町公式ホームページ
<https://www.town.ibaraki.lg.jp/>
- 町公式X (旧ツイッター)
<https://twitter.com/IbarakiTownMati/>
- 町公式Instagram
https://www.instagram.com/townibaraki_official/

里山に育む生きものたち



No.137 ゴマナ
(キク目 キク科)
学名 *Aster glehnii* Fr.Schmidt
写真・文 安 昌美



No.138 ミョウガ
(ショウガ目 ショウガ科)
学名 *Zingiber mioga* (Thunb.) Roscoe
写真 川上 昇
文 安 昌美

▼ゴマナ(胡麻菜)とは
山地の草原や道端にふつうにある多年草で、茎は高さ1〜1.5m、葉は幅は長さ4〜6cm、両面に短い毛があります。花期は8〜10月です。分布はサハリン・千島列島中部・南千島・北海道・本州とされています。サハリンから北海道のものは大型で、毛深いことから、本州のものとは区別してエゾゴマナとされ、本州のものがゴマナ(var. *hondensis* Kitam.)とされる場合があります。茨城町のものとは狭義

のゴマナになります。北海道のエゾゴマナを見たいものです。名前は、葉の形が胡麻の葉に似ていることから胡麻菜とされたのではといわれます。若葉は食用にされたのでしょうか。
▼茨城町のゴマナの確認
県内では山地部にみられ、平地部では稀で、昭和56年の記録では水戸市、旭村(現在の鉾田市)がありました。茨城町ではまだ確認されていませんでした。私も平成6年に上石崎と中石崎で、平成9年には馬渡で出合いました。ともに台地斜面の下部で、湧水などがあり、夏も高温にならないような場所です。今後も大切にしたい環境

▼ミョウガの赤い果実
ミョウガは熱帯アジア原産とされ、国内でも各地で栽培されています。若い花穂は食材として利用されています。染色体数などから五倍体とされ、正常な種子はほとんどできません。まれに果実ができ、珍しがられます。今回は、自宅の庭で実をつけたミョウガを発見した方から、写真の投稿をいただきました。果皮の内側は朱赤色で白い仮種皮の中に黒い種子がみられます。結実の条件は複雑で、開花期に20〜25℃の高温と高い湿度、受粉後50日間、生育に適した条件が維持されることが必要と言われています。果実ができた時には、何か良いことがあるといいですね。

ちびっ子アート

沼前幼稚園



「いばらきまちのはたらくるま
〜いつもありがとう〜」